

5歳児の社会探訪(ふれあい広場)

—京都水族館に行く話題から—

梅雨の合間、6月30日水族館へ行く前の会話

園長：「年長組さん、観光バスで行く社会探訪、楽しみですね。」

A児：「社会探訪って何？」

園長：「園から外へ出て、水族館に何がいるのかな？と見に行くことです。」

B児：「わかった。お魚の泳ぎ方を見てくることや。」

C児：「そうか。プールでの泳ぎ方を魚に教えてもらうのや。」

園長：「その通り。よく気がつきましたね。」

A児：「えー？気が付くって何するの？」

園長：「何でもわかろうとすることだね。」

C児：「何でも知ることや。」

**何事にも興味深く言葉で伝えることは大切ですね。
頼もしい限りの会話でした。**



5歳児のお泊まり保育の会話から……

うちの皆さんから離れてお泊まり保育体験

園長：「うちの皆さんから離れてのお泊まり寂しくなかったですか？」

A児：「寂しくなかった！だってみんなとで、楽しいもの。」

B児：「ちょっと寂しかったけど、友だちがいたからがまんした。」

園長：「お友だちがいてよかったね。大事にしようね。先生と一緒に泊まったり、いろいろなお遊びができてよかったね。」

C児：「きもだめし、怖かったもん。」

D児：「ぼく、泣かへんかった。Eちゃん泣かあった。」

E児：「でも、怖かったもん。」

C児：「おばけってにせもの。まるちゃんやで！」

B児：「そうやったなあほんとおばけっていないなあ、園長先生。」

園長：「ほんとうのおばけ、いた方がよいかな？」

C児：「いらん、いらん。なあ、みんな。」

園長：「よい思い出ができたね。」

**保育園・幼稚園最年長の楽しいひと時
思い出がたくさんできたおとまり保育でした。**

